

高性能林業機械導入による生産性向上と人材育成

1. 林業事業体等名 ゆうげんがいしゃ すぎさんぎょう 有限会社 杉産業 (岡山県新見市)

2. 林業事業体の概要

- ①年間素材生産量 12,162 m³ (うち 間伐の占める割合 21%)
- ②生産する主な樹種 スギ・ヒノキ
- ③素材生産に関わる作業員数 12名 (1セット4名 × 3セット)

3. 取組の特長

- ・ 森林所有者から、利用期を迎えた森林の間伐や皆伐の依頼を受ける機会が多くなっており、皆伐後の再造林についても施業提案を行うよう心がけている。
- ・ 生産性の向上と労働条件の改善のため、森林整備加速化・林業再生事業等を活用し、平成27年度にはハーベスタ、28年度にフォワーダ、29年度にフェリングヘッド付きフォーク収納型グラップルバケット、プロセッサと高性能林業機械の導入を進めている。
- ・ Iターン等により若い担い手も増加している。
- ・ 現場作業員の労働安全の向上のため、毎日始業時、終業時の事務所ミーティングで、その日の作業についての安全点検・報告を社員全員で共有し安全意識の高揚を図っている。

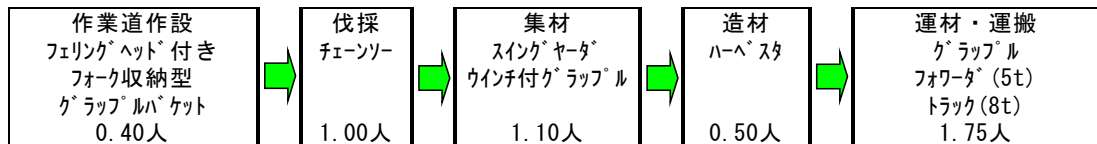
4. 具体的な内容

- ・ 集約化施業による大規模施業・低コスト化を図り素材生産量を増大させるため、大型機械班を1班増設した。
- ・ 一方、小規模施業地や急傾斜地での作業を担当する班も、引き続き編成しており、造材工程でハーベスタを使用することにより、労働生産性も向上した。

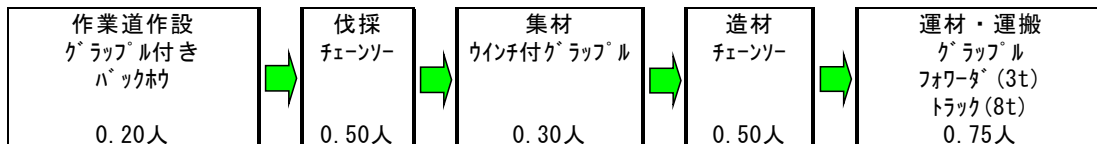
① 作業システム

1) 旧作業システム

○大型機械 (5人/1セット) ※ベースマシンは0.45 m³

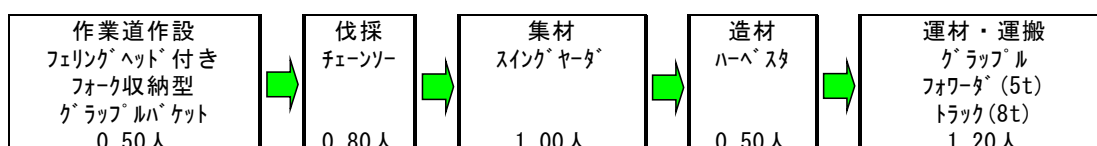


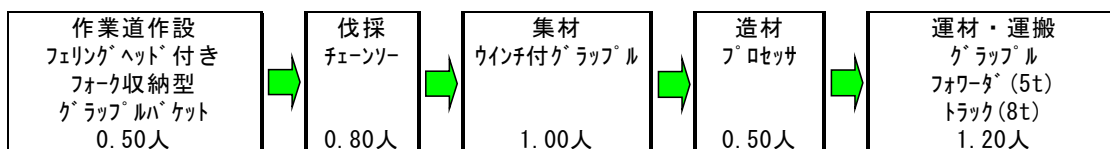
○小型機械 (2人/1セット) ※ベースマシンは0.2 m³



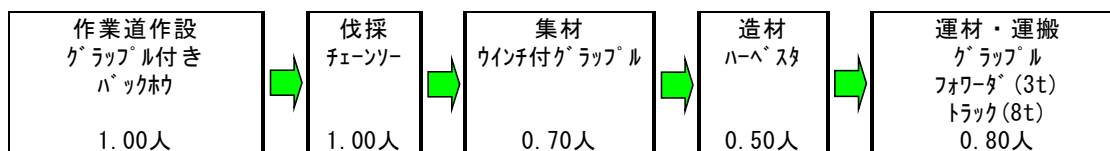
2) 現行作業システム

○大型機械 (4人/2セット) ※ベースマシンは0.45 m³





○小型機械（4人／1セット）※ベースマシンは0.2㎡



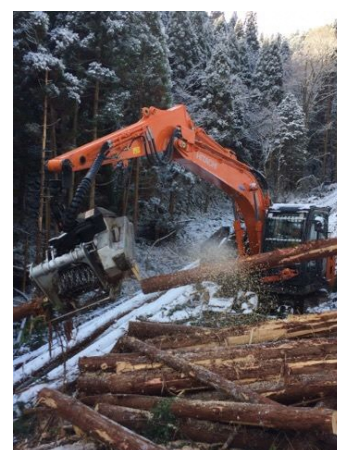
②労働生産性及び素材生産コスト：

利用間伐	旧作業システム		現行作業システム	
	労働生産性 (㎡／人・日)	素材生産コスト (円／㎡)	労働生産性 (㎡／人・日)	素材生産コスト (円／㎡)
	3.4	8,000	5.7	6,000

・新作業システムにより、労働生産性が約68%向上し、素材生産コストが約25%削減された。

5. 今後の取組等

- ・より効率的な作業が行えるよう、機械のアタッチメント等の改良を重ねている。
- ・事業地確保のため、自社有林の拡大を検討している。
- ・市内で稼働予定の木質バイオマス発電所へ、林地残材を効率的に供給する作業システムを模索している。
- ・市が設置した林業担い手確保に向けた地域協議会に参画し、地域の熱意ある新たな担い手確保に向けて積極的に活動している。



【フェリングヘッド付収納型グラップルバケット】

【ハーベスタ】

【プロセッサによる造材】

【問い合わせ先】

所属：岡山県備中県民局農林水産事業部新見地域森林課
 役職・氏名：総括副参事 筒井政紀
 連絡先：0867-72-9169